

# 茶病虫害防除情報

【第 7 号】

令和 3 年 4 月 28 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

良質夏茶の安定生産に向けた

## 一番茶後の病虫害防除対策

新型コロナウイルス流行災禍の中で例年よりかなり早い生産となりました。今年の一番茶の生産も早場・中間産地で終盤になり、遅場産地では最盛期を迎えました。今年も諸々の厳しい条件での生産になりましたが、皆様の努力・工夫で良質茶の生産がすすめられました。

間もなくゴールデンウィーク連休となりますが、茶業関係の皆様には最も繁忙期で、本当にご苦労様です。今回は一番茶後の病虫害対策についてお知らせします。

### ◎ 病虫害の発生概要

一番茶期は今年も病虫害の発生被害は殆どみられませんでした。しかし、気温が上がり発生が多くなる時期になりました。害虫の発生は茶芽の生育以上に早くなっています。

ハマキムシ類は最近やや多くなってきています。病虫害防除所の 5 月の発生予察情報では、第 1 世代の発生量はチャノカケモンハマキ「やや多」、チャハマキ「やや多」、発生時期は「早い」予報です。いずれの産地も刈番茶の摘採直後頃がふ化～若齢幼虫発生期で、防除の適期になります。

今年のカンザワハダニの発生は一番茶前まではやや少発生で経過しました。その後、一番茶期は比較的晴天が続いたため発生増加が懸念されましたが発生・被害は殆どみられないようです。県病虫害防除所の発生予察情報では「やや少」となっています。例年一番茶摘採後の今頃からが発生のピークになりその後減少していきますのでしばらく発生に注意が必要です。

ハダニ類はこの数年多発生が続いています。これから乾燥した晴天が続くと一番茶後に急に発生が多くなる恐れもありますのでハダニ同様しばらく茶園観察など注意が必要です。

発生が拡大しているチャトゲコジラミは県内の殆どの産地で寄生がみられており、一部地域では煤病発生を伴っています。4 月中下旬の調査では、かなりの園で成虫が一番茶新芽に群生・乱舞する状況でした。今年はかなり発生が多いようです。成虫の発生が多く確認されている地域、園では一番茶後の防除に努めてください。

### ◎ 基本的防除対策

#### ① ハマキムシ類の防除法（補完・臨機防除）

ハマキコン-N 使用園は防除の必要はありません。ハマキ天敵利用防除園や薬剤防除園ではできれば地域のフェロモントラップによる予察情報を活用し、発蛾最盛日 16～22 日後に防除します。防除適期の予想は早場産地が 4 月 6～5 月 2 半旬、中間・遅場産地が 5 月 1～3 半旬頃になると思われますが刈番茶摘採後頃を目処にしてください。

#### ② カンザワハダニの防除法（補完・臨機防除）

一番茶摘採後 5 月上中旬頃が発生のピークになりますので、発生がみられる園では刈番茶摘採後早目に防除します。天敵（カブリダニ類など）の働きが活発になる時期であるため天敵に影響の少ない薬剤を選びましょう。なお、発生は天敵の活動と梅雨の影響で 5 月中～下

旬頃には自然に減少しますので5月中旬以降の防除は必要ありません。

### ③ サビダニ類の防除法（臨機防除）

一番茶摘採後頃に急増し、摘採残葉の褐変黄化・萎縮・落葉などの被害を生じることがあります。茶園が黄褐色化するなどで発生に気づいたら早めに防除します。通常はカザリハダニと同時防除できますが、発生が多い場合は専用剤での防除が望ましいです。

### ④ チャトゲコナジラミの防除法（補完防除）

一番茶摘採期頃に成虫が発生し、4月下～5月中旬頃が防除適期である若齢幼虫発生期になります。クシロカケラムシの防除適期であるふ化最盛期と発生が概ね同調しますので、同時防除を狙った防除が可能です。裾葉・葉裏に十分薬液がかかるように散布します。

表 一番茶後の病害虫防除法

病害虫名	防除薬剤	希釈倍数	使用基準	使用上の留意事項
チャノコカクモシハマキ チャハマキ	ハマキ天敵	1000～2000倍	前日 ー	・ハマキ類に影響の大きい薬剤との混用・近接散布は避ける。 ・ふ化～2齢迄の若齢期でフェロモントラップの発蛾最盛期 16～22日後が散布適期である。 ・有機栽培に使用できる。
	チューンアップ <sup>®</sup> 顆粒水和剤	2000倍	前日 ー	・BT剤は若齢幼虫期散布の効果が高い。 ・天敵への影響が少ない。 ・有機栽培、米国輸出茶栽培に使用できる。
	センターリ <sup>®</sup> 顆粒水和剤	1000倍	7日前 ー	
	デルフィン <sup>®</sup> 顆粒水和剤	1000～2000倍	前日 ー	
	サブリン <sup>®</sup> フロアブル	1000倍	7日前 ー	
	レピグリーン DF	500～1000倍	前日 ー	
	エクシレル SE	2000倍	7日前 1回	・ジアミト <sup>®</sup> 系薬剤(フェニックス・サムコル・エクシレル)は一部地域(枕崎)では感受性が低下しているため、注意する。
	サムコルフロアブル	2000倍	3日前 1回	
	テッパ <sup>®</sup> 液剤	1000倍	3日前 1回	
	スピノエースフロアブル	2000～4000倍	7日前 2回	
	アグリメック	1000倍	7日前 1回	
カンザリハダニ	ダニサラハ <sup>®</sup> フロアブル	1000～2000倍	7日前 2回	・マイトコーネは遮光栽培では遮光開始14日前までに使用する。 ・同一系統薬剤の使用は年1回とする。 ・有機栽培に使用できる。
	ダニコング <sup>®</sup> フロアブル	2000～4000倍	7日前 1回	
	マイトコーネフロアブル	1000倍	※14日前 1回	
	スターマイト <sup>®</sup> ラスフロアブル	1000倍	14日前 1回	
	アグリメック	1000倍	7日前 1回	
	サンクリスタル乳剤	300～600倍	前日まで ー	・有機栽培に使用できる。
	ミルベ <sup>®</sup> ノック乳剤	1000倍	7日前 1回	
サビダニ類	サンマイトフロアブル	1000～2000倍	14日前 2回	・有機栽培に使用できる。
	アグリメック	1000倍	7日前 1回	
	スターマイト <sup>®</sup> ラスフロアブル	1000倍	14日前 1回	
	サンクリスタル乳剤	300～600倍	前日まで ー	
	ミルベ <sup>®</sup> ノック乳剤	1000倍	7日前 1回	
チャトゲコナジラミ	アプロート <sup>®</sup> エースフロアブル	1000倍	14日前 2回	・400L/10a 散布

備考 ☆ ハマキ天敵と混用または近接散布(7～10日以内)

可能な薬剤・・・サンマイト ピラニカ ミルベ<sup>®</sup>ノック マイトコーネ カネマイト ダニサラハ<sup>®</sup> ダニゲッター  
避ける薬剤・・・スプラサイト<sup>®</sup> ダースバン ハチハチ アグリメック ハマキ類防除薬剤



チャトゲコシラミ成虫蟻集状況



チャトゲコシラミ幼虫寄生状況



チャハマキ成虫 雌 雄



チャノコカクモンハマキ成虫 雌 雄



チャノコカクモンハマキ 卵塊



チャハマキ 激発被害園



チャノガサビダニ寄生状況



チャノガサビダニ被害葉